



5月25日は「主婦休みの日」 もし、夫と妻が入れ替わったら!? ～妄想アンケート結果発表～

女性のための生活情報紙「リビング新聞」を発行する株式会社サンケイリビング新聞社(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長 和田 直樹)は、主婦として家族を支える読者の声から生まれた「主婦休みの日」の認知度アップに向けた取り組みを行っています。

2009年に日本記念日協会に申請、登録された「主婦休みの日」は、日ごろ家族のために家事をがんばる主婦・主夫がリフレッシュしたり、家事の大切さを家族で分かち合う日です。

今回の主婦休みの日は、新学期や新生活での疲れをリフレッシュしたいタイミングの5月25日。主婦休みの日を機に、“もし夫と妻が入れ替わったらどうなるか”を妄想してもらい、その名も「妄想アンケート」を実施しました。結果、見えてきたのは…。

※本調査はリビング新聞公式サイト「リビングWeb」で、2017年3月に実施、有効回答528(既婚女性)、109(既婚男性・50代以下)



◆夫・妻ともに「入れ替わりたくない」が優勢 お互いの仕事や家事が大変だということは、百も承知!

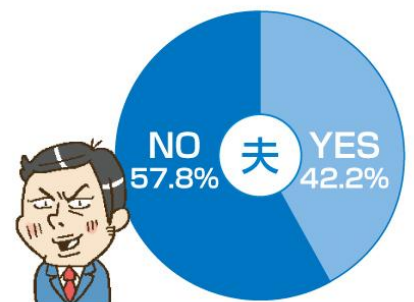
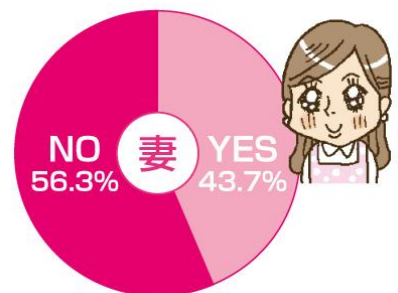
今回の調査で、「もし夫・妻と入れ替わることができるとしたら入れ替わりたい?」と聞いたところ、「いいえ」と答えた人は、妻＝全体の56.3%、夫＝57.8%〈グラフ1〉という結果に。夫婦ともに「入れ替わりたくない」と思う人がやや多いようです。理由は、次のような回答が挙がりました

★入れ替わりたくない理由は?

- ・一日中仕事はしたくない。**責任が重い** (60代女性・東京都)
- ・あっという間に**家がぐちゃぐちゃになりそう** (30代女性・兵庫県)
- ・**家事は無理**。どこに何があるのかわからない (40代男性・埼玉県)
- ・仕事に追われたほうが**気が楽** (30代男性・東京都)

★入れ替わってみたい理由は?

- ・何もせずに**ゴロゴロしてみたい** (40代女性・大阪府)
- ・家事は女がやるもんだという夫に、**すべての家事をやらせたい** (30代女性・愛知県)
- ・**子どもと濃密な時間**を過ごしたい (20代男性・東京都)
- ・妻の立場を経験することで、より**相手を思いやれる気がする** (30代男性・神奈川県)



〈グラフ1〉

妻は「夫の仕事は自分には到底できない」「夫に家事をやってほしい、でも実際は無理だろうなあ…」
夫は「家事は自分には務まらない、仕事をしていたほうが気が楽」「もし入れ替わったら、普段なかなか時間が取れない子どもとの時間を大切にしたい」という心の内が見えてきました。

◆夫は“家事と仕事の両立”に自信あり!? しかし夫に対する妻側の評価は、かなり厳しめ

妻と夫に「入れ替わったとしたら、相手がやっていることをできる?」、また、有職の妻に対し「夫は家事をしながら妻の仕事をできそう?」、有職の妻を持つ夫に対し「自分は家事をしながら妻の仕事をできそう?」と聞いたところ、以下のよう結果となりました(グラフ2)。
(グラフ2)

【妻】 夫の仕事ができる?



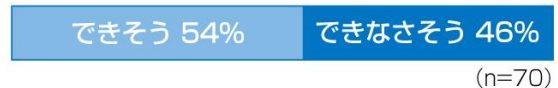
【夫】 妻がいつもしている家事ができる?



【妻】 夫は家事をしながら妻の仕事をできそう?



【夫】 自分は家事をしながら妻の仕事をできそう?



妻は、夫の仕事は難しいと思っている人が多いようで、「できない」との回答が67%。
夫は、家事に対する自信がある人となない人がほぼ半々という結果となり、「できない」との回答は54%。
注目は、家事と仕事の両立ができるかどうかについての、夫の自己評価と妻からの評価の差。
夫は「自分は家事をしながら妻の仕事をできそうだ」と思う人が、過半数超えの54%。対して、妻は「夫は家事をしながら自分(妻)の仕事をできなさそう」と思う人が、62%にのぼりました。
実際、“家事と仕事の両立”は、想像より大変だということではないでしょうか?

◆夫・妻ともに「入れ替わってたくないことTOP3」は お互いの仕事・家事のことばかり…!

今回、「夫・妻と入れ替わってしてみたいこと」「したくないこと」についても調査。TOP3に挙がってきたことは…!?
※複数回答あり

★入れ替わってしてみたいことTOP3

- 妻**
- 1位 夫の職場で過ごす (36.4%)
 - 2位 家でゴロゴロする (30.1%)
 - 3位 夫の仕事をする (28.4%)
- 夫**
- 1位 家で過ごす (40.4%)
 - 2位 子どもと過ごす (37.6%)
 - 3位 料理 (28.4%)

★入れ替わってしたくないことTOP3

- 妻**
- 1位 夫の仕事をする (37.9%)
 - 2位 通勤 (33.0%)
 - 3位 残業 (31.3%)
- 夫**
- 1位 掃除 (33.9%)
 - 2位 料理 (30.3%)
 - 3位 洗濯 (26.6%)

入れ替わってしたくないことTOP3の結果から見てきたのは、
妻:「通勤や残業はすごく大変」、夫:「家事はハードな“仕事”」だということは痛いほどわかっている、ということ。

妄想アンケートに答えてみて「改めて入れ替わってやりたくないことの多さを再認識した」との声も挙がり、夫婦それぞれがお互いを思いやり、協力するべきだということを、今回のアンケートを機に感じたようです。

当社ホームページ「リビングWeb」では
主婦休みに関する特集ページを展開しています。
<http://mrs.living.jp/shufuyasumi/>

◆「主婦休みの日」とは?

1月25日、5月25日、9月25日を「主婦休みの日」として2009年4月に日本記念日協会に申請し、登録されました。家事を主に担当する「主婦」が、気兼ねなく家事を休む日。年末年始・ゴールデンウィーク・夏休みの直後の給料日に!という主婦の声で決まりました。

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サンケイリビング新聞社 リビング編集部 担当:和田、丸山、川西、中澤
TEL:03-5216-9161 FAX:03-5216-9260 E-mail:cc@sankeiliving.co.jp

